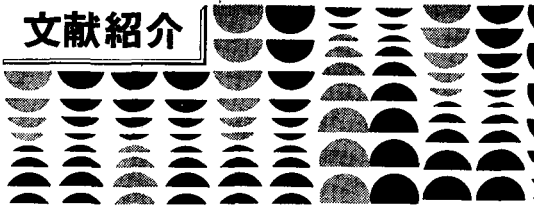


文献紹介



IEEE Trans. on Comm. COM-25, 2~12, 1977

- 205 計算機網におけるプロセス間通信用プロトコル(規約)の効率
C. A. Sunshine. 287-293.
- 206 ループ網に対する待ち行列の公式の簡単な導き方
J. Spragins. 446-448.
- 207 メモリーを用いて再送回数を減少させる誤り制御方式(メモリー付きARQ方式)の解析
P. S. Sindhu. 473-479.
- 208 フェージングの起こる回線へのデータの送出可否をSN比と待ち行列長の比較により判定する方法
J. K. Cavers. 496-502.
- 209 純アロハ方式の遅延時間の近似解析
M. J. Ferguson. 644-654.
- 210 各端末の呼生起率が非一様なループ網の走査時間の簡単な解析(ゲート式ポーリング)
R. T. Carsten, E. E. Newhall, 他. 951-957.
- 211 計算機網におけるノード間でのバッファの共用
M. A. Rich & M. Schwartz. 958-970.
- 212 線形回帰クラスタリングによる分散形データ通信網の網設計
H. Diriltan & R. W. Donaldson. 1083-1092.
- 213 緩和法(反復計算)を使う分散形ルーティングアルゴリズム
T. E. Stern. 1092-1102.
- 214 無線によるパケット交換: その4——搬送波検知(CSMA)方式の安定性と動的制御
F. A. Tobagi & L. Kleinrock. 1103-1119.
- 215 2段直列型網の最大平均スループットについて
S. K. Jones, R. K. Cavin, 他. 1240-1242.
- 216 端末一端末間の輻輳制御とランダムルーティングを行なうパケット交換網の解析
A. Chatterjee, N. D. Georganas, 他. 1485-1489.
- 217 時分割多元接続方式(TDMA)の遅延時間解析
S. S. Lam. 1489-1494.
- 218 データ通信システムにおける従属故障の解析
J. Spragins. 1494-1499.

(川島幸之助)

Management Science 23, 10, 1977

- 219 最適な広告政策の実験的分析
D. Horsky. 1037-1049.
- 220 組織設計に対する資源指向的配分モデルの意味
J. R. Freeland & J. H. Moore. 1050-1059.
- 221 保険会社の製品混合と企業政策の決定—ポートフォリオによる接近法
Y. Kahane. 1060-1069.
- 222 1台の設備でN種類の製品を製造する際のロットサイズと加工順序
C. M. Delporte & L. J. Thomas. 1070-1079.
- 223 水資源計画に対する投資と分配の同時決定
R. D. Armstrong & C. E. Willis. 1080-1088.
- 224 特別な職能技術を有する人材計画のための需要予測の確率モデル
N. K. Kwak, W. A. Garret, Jr., 他. 1089-1098.
- 225 問題解決システムの設計
W. Ulrich. 1099-1108.
- 226 基礎研究に従事する科学者個人の意思決定モデル
J. L. Zimmerman. 1109-1116.
- 227 ポートフォリオ投資の幾何平均収益を最大にする戦略
J. H. Vander Weide, D. W. Peterson, 他. 1117-1123.
- 228 血液銀行の保存期限切れ血液廃棄の減少政策
M. B. Dumas & M. Rabinowitz. 1124-1132.
- 229 mセンター問題—ミニマックス基準による施設の設置
R. S. Garfinkel, A. W. Neebe, 他. 1133-1142.
(日下泰夫)

Management Science 23, 11, 1977

- 230 情報による人的移動の代用—事例研究
D. A. Lopez. 1149-1160.
都市にある保険会社を例にとり、集中した機能の最適な分散化について述べる。
- 231 大学予算均衡化計画のモデル
D. S. P. Hopkins & W. F. Massy. 1161-1168.
予算と伸び率を均衡させた五カ年計画の長期均衡モデル、現在スタンフォード大学に適用されている。
- 232 消防夫はどれくらいの睡眠をとるべきか
J. D. Finnerty. 1169-1173.
- 233 ヒューリスティックなフローショップ計画法の評価
D. G. Dannenbring. 1174-1182.

3つの新しい方法を含む11種類のヒューリスティックなフローショップ計画法を比較し、最も効果的な新しい方法を紹介する。

- 234 分散させた工場の規模と建設時期について
R. C. Rao & D. P. Rutenberg. 1187-1198.
- 235 クレームの変動に対する準備量の最適化
C. H. von Lanzanauer & D. D. Wright.
1199-1207.
- 236 巡回セールスマン問題の幾何的アプローチ
J. P. Norback & R. F. Love. 1208-1223.
(小沢治行)

Management Science 23, 12, 1977

- 237 大規模な組合せ問題の最適解を推定する手順
D. G. Dannenbring. 1273-1283.
- 238 広告原稿の効果比較に関する予備テストのためのサンプルサイズの決定
S. R. Dalal & V. Srinivasan. 1284-1294.
- 239 偏りのあるサンプリング手法を使用した在庫投資分析
W. L. Berry, M. Marcus, 他. 1295-1306.
- 240 双対勾配の線形近似による一般的な計画法—凸計画法の場合
M. H. Wagner & J. F. Sharp. 1307-1313.
- 241 中間バルク在庫量に制約がある場合の多製品2段階在庫システムのモデル
H. G. Daellenbach. 1314-1320.
- 242 複数製品の生産継続期間：2製品の場合のヒューリスティック
A. L. Saipé. 1321-1327.
- 243 在庫不足によって売り逃がしが生ずる場合の注文—水準—生産計画—期間決定システム
I. Pressman. 1328-1335.
- 244 3人ゲームの実験的研究におけるコミュニケーションと情報利用度の効果
J. K. Murnighan & A. E. Roth. 1336-1348.
- 245 待時間に制限がある単一サーバー待行列システム
B. Gavish & P. J. Schweitzer. 1349-1357.
(日下泰夫)

Opsearch 14, 1, 1977

- 246 有限の待ち合い室をもつ2段直列型 $M/M/1$ 待行列：定常状態に対する行列解法
B. Wong, W. Giffin, 他. 1-18.

共に有限の待ち合い室をもつ2個の $M/M/1$ 待行列が、直列に接続されているシステムを解析している。定

常状態での行列長の結合分布が、ある行列作用素の固有値と固有ベクトルを用いて表わされることが示される。

- 247 確率的処理時間をもつ仕事の順序づけにおける優先権付問題
B. S. Mittal & P. C. Bagga. 19-28.
 n 仕事, 2 機械順序づけ問題において, ある特別な仕事の期待完了時刻がある時刻以前になるという制約のもとに最適順序の計算法を与えている。ただし, 各仕事の処理時間は指数分布に従う。
- 248 指数型セミ・マルコフ入力を有する並列待ち行列
J. J. Hunter. 29-37.

サービス時間分布がそれぞれ指数分布に従う独立な2個の並列窓口から成る待ち行列が解析される。系に到着する客は, ある2状態セミ・マルコフ過程に従うパラメータをもつポアソン到着をする。待ち合い室が有限の場合ならびに無限の場合の定常状態における行列長の結合分布および周辺分布が導出される。

(大野勝久)

Opsearch 14, 2, 1977

- 249 $(n/m/F/Fmax)$ の特殊な問題
N. R. Achuthan. 71-87.
追越しが許されない m 機械フローショップ問題において全経過時間を最小にする問題を考察する。本論文では機械の任意のペアに対して, ジョソソンの2機械の解法が仕事の同じ順序を与えるなら, それは最適であることを証明する。
- 250 0-1 ナップザックアルゴリズムのための初期限定手順
J. C. Fisk. 88-98.
0-1 ナップザック問題を解く既存のアルゴリズムの有効性をいちじるしく増加させるような単純な, 限定手順について述べる。
- 251 相補計画問題の整数解について
M. Chand & S. C. Agrawal. 99-107.
相補的整数計画問題に対して, 平面切除法による解法を提案する。
- 252 複数窓口待ち行列の平衡状態に関する近似的な結果
G. P. Cosmetatos. 108-117.
 $E_m/E_k/r$ 待ち行列の平衡状態における平均待ち時間に対する近似公式が導出される。
- 253 狭義凸2次計画問題の一方法
W. S. Hsia. 118-124.
2次計画問題に対して, 既存のすぐれた方法の特徴を部分問題を解くために用いるアルゴリズムを開発する。